

感謝

平成二十三年九月二十八日

平成二十三年十月二十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつも愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力をいただき心から感謝申し上げます。
今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めてまいります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。
略儀ながらお礼状に代えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

・北杜市長坂町 小澤 善六 様
・北杜市武川町 實 相 寺 様
・北杜市長坂町 平 井 みね子 様
・北杜市長坂町 小 澤 一 子 様
・北杜市白州町 吉 野 博 文 様
・甲斐市西八幡 榎介護センター 花岡 様
・北杜市長坂町 浅 川 元 晴 様

ボランティア活動

・北杜市高根町 保 坂 多枝子 様
・北杜市大泉町 奥 本 道 子 様
・北杜市高根町 佐 藤 美 代 様
・都留市夏 狩 和 田 国 明 様
・山梨県域 東京電力常備労組 山梨総支部女性委員 山梨総支部女性委員 様
・北杜市 うたななかま 八ヶ岳 様

愛寿会後援会へのご協力

・北杜市 小宮山 光 彦 様
・北杜市大泉町 小 林 勝 雄 様
・北杜市白州町 小 林 銳 二 様
・北杜市白州町 落合第一地区 様
・新宿区 落合 様
・民生委員児童委員 様

今年も「武川米」を

贈っていただきました

「神代桜」の 大津山 實相寺
住職 松 永 直 樹

私の住む武川町は、昔からお米の美味しい所といわれ、古くは江戸時代から將軍様に献上したといわれていました。

先代の住職が、愛寿会創設時に、民間で山梨県初めての老人施設の皆さんに、この美味しいお米を食べていただきたいとお贈りしたのが最初でした。
そして、「おいしい、おいしい」と言ってくれるのがうれしくて、私の代になってからも贈らせて頂いております。

施設入所の皆さんが新米を食べて、また元気で過ごして下さいますようお願い申し上げます。

武川の
新米を
美味しく
いただきました



愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁 生 園 電話 0 5 5 1 (3 2) 3 3 4 0
第二仁生園 電話 0 5 5 1 (3 2) 8 2 7 0

ご面会の皆さま

手指の消毒などにご協力を！

仁生園・第二仁生園 共通

お手数をおかけしますが、施設利用者の健康を守るために左記の七項目をお守りくださいますようお願いいたします。

一、ご面会は、なるべく午前九時から午後五時の間をお願いいたします。

二、出入口は、正面玄関からのみとしてくださるようお願いいたします。

三、ご面会の際には、必ずマスクを持参してください。

四、玄関に入りますと正面に消毒液が設置されておりますので、手指を丁寧に消毒してください。

五、ご面会に訪れたことを事務室にお話してください。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。

六、それからワーカー室に向い、来意をお伝えください。

七、ご面会の際には、マスクの着用を基本にお願いいたします。

愛寿会だより

11 月号
第 149 号
平成 23 年
11 月 1 日発行



仁生園の十月の誕生会は十一日(火)でした。
おはぎ、お赤飯、菊の花の添え物づくり等々で
調理室は早朝から大わらわでした。

給食の委託先：総合評価方式による選定に入りました 何よりも利用者皆様のご満足がいただけるように：

法人事務局長 清水 元義

食事は利用者皆様の健康確保のための最も基礎的な要素であり、また、代えがたい楽しみの一つでもあります。

その業務がどうなっているかといいますと、平成十一年度までは愛寿会が直営でやっていた。翌十二年度からサービスの向上や財政効率等を考えて大部分の業務を外部委託することになりました。

慎重検討の結果、東京に本社があり長野市に支店、甲府市に営業所を有する日清医療食品株式会社に委託することになりました。委託期間は十年以上に及びます。

その期間が長きにわたっていることから、昨年度望ましい給食が為されているかどうかを検証することになり、愛寿会の内部組織として「給食事業検討委員会」を設け一年間多方面から検討研究して参りました。

その結果、委託した内容はほぼ満足するに足ると認めましたが、その上に、平成二十三年度は、

- 一 行事食、季節食の回数増加
- 二 調理従事者の研修増加
- 三 米の更なる品質アップ
- など、十四項目を必修項目として改善を図ること。

また、調理職員の労働時間一時間あたり食数を七・三未満とすることなど四項目を努力項目とすることで日清側と協議し、これが整いましたので引き続き同社に委託して今日に至っています。

なお、今年三月の定例理事会・評議員会におきまして「特別の問題がある訳ではないものの、十年は一区切りの期間と考えられる。

平成二十四年度の委託業者は今秋中に総合評価方式により選定のうえ決定したい。」と提案し、ご了承をいただきました。

これを受け、去る九月二十八日(水)の定例理事会・評議員会で大要、次のようなスケジュール等を認めていただきました。

- 一 早速にも、給食業務総合評価委員会を設ける。
- 二 同時に北杜市の先例を参考に、県内外の主たる受託可能業者から会社概要及び受託実績を徴する。
- 三 十月早々に第一回評価委員会を開き、特に問題があるものについては、除外する。
- 四 そのうえで、競争を求めようとする業者に、理事会・評議員会に提示の契約書、仕様書、プロポーザル表などを郵送する。
- 五 十一月中旬に評価委員会を数回開催、事務局案をまとめる。
- 六 十二月中旬に開催予定の定例理事会・評議員会に事務局案を議案として提出、議決を求める。

以上があらましですが、これに基づき早速選定作業に着手しています。
何よりも、利用者の皆様にご満足いただける内容でなければならぬと思っています。かつまた、公正公平でなければならぬこと当然です。

なお、愛寿会だより十二月号、一月号で進行状況等をお知らせしますのでご覧願います。

歯科技工士会による義歯刻銘奉仕作業



十月二日(日) 山梨県歯科技工士会の皆さまが仁生園を訪れて、入所者皆さまの義歯(入れ歯)に個人の名前を埋め込む奉仕作業を行ってくださいました。これにより、紛失・放置・取り違い等を未然に防止することができました。ありがとうございました。

バスハイク

天候に恵まれた十月二十日(木)、二十五日(火)、二十八日(金)にフロアーごとに清里周辺へバスハイクに出掛けました。一・三、一・四班はまきば公園に行き、参加された皆さまは、紅葉した景色を眺めながら「赤や黄色の木々がとてもきれい」「良い気分転換になりました」などと話され、喜ばれていました。



十月十六日(日) 仁生園の一階広場にて衣料ショッピングが行われました。この催しは年に二回(六月と十月)開きます。皆さまとても楽しみにしています。今回も大勢が参加、それぞれ好みの衣類を手にご満足の様子でした。

衣料ショッピング



地域運営委員会

認知症グループホーム「やすらぎ」地域運営委員会が十月十二日(水)に開催されました。

共同生活されている皆さまに、「よりご満足いただけるようにするにはどうしたらよいか」を検討する組織で、家族、地域、愛寿会の各代表のほか北杜市からも参加していただき、隔月に年六回開催しています。



新宿区の民生児童委員が来訪

二、三班は清里にある「東沢橋」まで行ってきました。赤い橋から晴れた八ヶ岳を望むことができ、また、溪谷の紅葉がちょうど見ごろを迎えていました。楽しみにしていた外出。新鮮な空気や紅葉を楽しんで頂けたようです。

参加された皆さまがとてもよい笑顔をされている様子が印象的でした。



十月二十一日(金) 東京都新宿区の民生児童委員二十五名が研修のため来園されました。園長、副園長から当園のサービス内容を説明、引き続いたの質疑応答は二時間に及びました。「改めて重度化の実態を知ることができました」などの謝辞がありました。

焼きいも集会



「いも掘り」を楽しんで来ました。
十月十二日には写真のように「やさいも」を焼き、みんなで楽しみました。



蕪崎市の篤志家の方が、この三年来たくさんの「さつまいも」をご寄付くださっています。今年は利用者の皆さんが新府の農園に出かけて

秋の大運動会



十月五日は、第二仁生園の運動会でした。日頃の練習の成果を発揮して、みんなで号令一、二…

代表の選手宣誓に始まり、大玉リレー、ニアピンボウリング競技などに精いっぱいの声援を浴びながら、楽しい時間を過ごしました。久しぶりに汗を流しながら、大声を出したり笑ったりの一日でした。

秋の清里へ行ってきました！

素晴らしい秋晴れの十月二十六日・二十七日、二班に分かれて「清里高原・八ヶ岳高原ライン周遊」を行いました。

八ヶ岳の見事な紅葉に参加された十五人の皆さんは感嘆の声をあげながら時間が経つのも忘れていました。

そして、萌木の村でお茶をいただきながら、ハロウィンのオブジェの前でハイチーズ…周囲の山々の紅葉を見学し、バスの中で和やかなひと時を過ごしました。



小林陽子・齊藤めぐみ両サブリーダー

勤続十五周年で全国老協会長から

感謝状を授与されました

九月六日、見出しのように小林・齊藤の両サブリーダーが全国老人福祉施設中田清会長から感謝状を授与されました。

お二人にひとこと感想をいただきました。

小林 陽子 サブリーダー



「あつ」という間の十五年間であったように思います。お世話になった寮母長、班長（リーダー）等のことが脳裏によみがえります。厳しかったけれども、やさしく介護の一つ一つを教えていただきました。いつの間にか私自身その年齢に達してしまいました。責任の重さを感じています。

齊藤めぐみ サブリーダー



私が仁生園に就職したのは一九九六年、平成八年でした。十五年経った今、当時と現在の入所者の状況を比べると、重度化が進んでいること驚くばかりです。これは平均寿命が延びていること、それに高齢者の絶対数が急激で増えているゆえだと思います。何はともあれこの実態に対応したサービスを提供しなければ…ということではみんなが苦心しています。今回の受賞を機会に利用者皆さまの期待に応えるよう一層努力して参ります。